



週間情報



No.0812

発行日 令和8年3月24日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 03-4500-6622

消防本部の動き

行事

◆ 高規格救急自動車の寄贈式を実施

久慈広域連合消防本部（岩手）

久慈広域連合消防本部では、令和8年3月6日（金）、総務省消防庁の寄贈救急自動車事業の一環として、一般社団法人日本損害保険協会から高規格救急自動車を寄贈いただき、寄贈式を実施しました。

この事業は、全国各地域における救急業務の高度化および救急業務体制のさらなる充実を図ることを目的として実施しているものです。

今年度は、寄贈対象となった高規格救急自動車のうちの1台を、当消防本部に寄贈していただきました。

今後は、寄贈された同車両を有効に活用し、救急体制の充実強化を図るとともに、地域住民の安全・安心の確保に努めてまいります。



【寄贈式後の記念撮影】



【寄贈された車両への名入れ】

訓練

◆ 災害重機機動隊集合訓練を実施

取手市消防本部（茨城）

取手市消防本部では、令和8年2月26日（木）、27日（金）の2日間、災害重機機動隊集合訓練を実施しました。

この訓練は、災害対応力のさらなる強化を図ることを目的として実施したものです。

当日は、「土砂崩れに車両1台が巻き込まれ、運転手1人が車内に取り残されている。」との想定で、災害重機機動隊、救助隊、消防隊が連携した活動を展開し、緊迫した状況下において、現場指揮体制の確立、安全管理の徹底、情報共有の迅速化につなげることができました。

また、訓練終了後に全体で振り返りを行い、活動上の課題や訓練の改善点などについて意見交換を実施し、組織全体としての災害対応力の向上につながる有意義な機会となりました。

今後も、各隊の専門性を生かした連携訓練を継続し、大規模災害発生時に迅速かつ的確に対応できる体制強化に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 関係機関と合同で水難救助訓練を実施

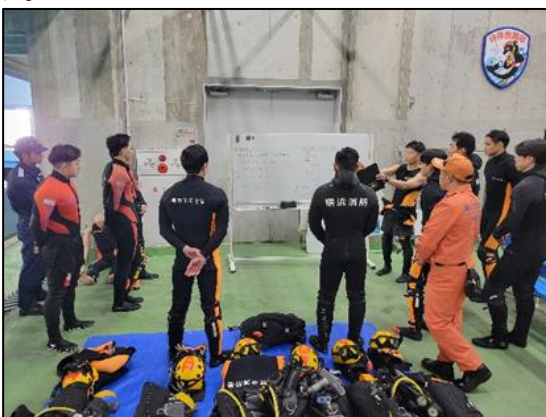
横浜市消防局（神奈川）

横浜市消防局では、令和8年2月27日（金）、横浜海上防災基地において、海上保安庁第三管区横浜海上保安部潜水班と合同で、水難救助訓練を実施しました。

この訓練は、横浜港湾地域における水難災害対応力の向上、関係機関との連携強化、近年増加する特殊な水難救助事案に対応できる救助技術の構築を図ることを目的として実施したものです。

当日は、障害物を設置した閉鎖空間からの救出訓練や同防災基地下の橋脚周辺の検索訓練など、実際の災害現場を想定した訓練を実施しました。

今後も、引き続き、横浜港湾地域の安全確保に向け、救助技術の向上と連携強化に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 福祉施設において特別消防訓練を実施

泉州南消防組合泉州南広域消防本部（大阪）

泉州南消防組合泉州南広域消防本部では、令和8年3月1日（日）、春季全国火災予防運動の一環として、知的障がい者総合福祉施設「愛の家」にご協力いただき、同施設において、岬町消防団と合同で、特別消防訓練を実施しました。

当日は、「建物2階食堂から出火した。」との想定で、消防団員と連携した消火活動を行い、大変有意義な訓練となりました。

火災予防運動期間中は、この訓練のほか、さまざまな行事を通じて、住民の皆さまに対して火災予防の広報を実施しました。



【訓練の様子】

◆ 火災救助想定訓練を実施

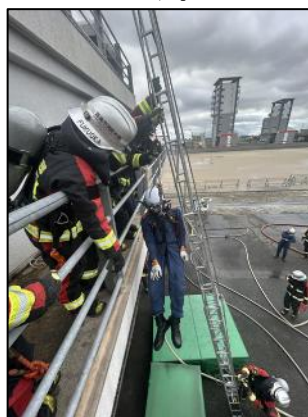
筑後市消防本部（福岡）

筑後市消防本部では、令和8年3月2日（月）、3日（火）の2日間、佐賀県消防学校において、AFT（建物火災消火訓練施設）を活用した火災救助想定訓練を実施しました。

この訓練は、濃煙、熱気などを伴う現場に近い環境下において、適切な消防活動の選択方法を学ぶとともに、指揮能力および組織的な活動能力の向上を図ることを目的として実施したものです。

当日は、訓練後に検討会を行い、延焼している建物内部の状況は刻々と変化することから、延焼状況などを踏まえた検索活動が重要であるとの認識を共有することができました。

昨年度は、同校のコンテナボックスを活用し、火災性状についての理解を深めており、今後も、今回の訓練で得た経験と併せて現場活動に生かしてまいります。



【訓練の様子】

◆ 事業所と合同消防訓練を実施

高山市消防本部（岐阜）

高山市消防本部では、令和8年3月4日（水）、春季全国火災予防運動の一環として、ドン・キホーテ高山店にご協力いただき、同事業所と合同消防訓練を実施しました。

この訓練は、指揮隊と消火隊の連携強化と迅速・的確な消防活動能力の向上を図ることを目的として実施したものです。

当日は、「店内2階から出火し、要救助者が取り残されている。」との想定で、同事業所の防火管理者からの情報を基に、活動方針の決定、各隊の連携活動、屋内進入活動をブラインド型で実施しました。

また、当消防本部が作成している警防計画書を活用したことで、間取りなどの建物構造や進入口を把握しながら活動することができ、大変有意義な訓練となりました。

今後も、さまざまな事業所との訓練に取り組み、消防活動能力の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 高齢者入居施設において消防総合訓練を実施

行田市消防本部（埼玉）

行田市消防本部では、令和8年3月6日（金）、春季全国火災予防運動の一環として、市内の高齢者入居施設である「ベストライフ行田」において、消防総合訓練を実施しました。

この訓練は、効率的な消防活動を再確認するとともに、同施設職員との連携強化を図ることを目的として実施したものです。

当日は、同施設職員と入居者が参加し、同施設職員による119番通報訓練、初期消火訓練、屋外への避難誘導訓練を行ったほか、入居者が避難訓練を実施しました。

また、はしご車による救出訓練と放水訓練を実施し、同施設職員と入居者の火災予防意識の高揚を図るとともに、同施設職員との連携強化につなげることができました。

今後も、さまざまな訓練を通じて、関係事業所との連携強化を図るとともに、消防技術力の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 大規模林野火災に係る警防特別訓練を実施

東近江行政組合消防本部（滋賀）

東近江行政組合消防本部では、令和8年3月9日（月）、当市平尾町にある東光寺山において、大規模林野火災に係る警防特別訓練を実施しました。

この訓練は、全国的に急増する大規模林野火災に備えるため、大規模林野火災における警防体制および可搬消防ポンプを主体とした放水体系の構築と、出動隊の特別編成要領を検討するとともに、災害対応力の向上および滋賀県防災航空隊との連携強化を図ることを目的として実施したものです。

当日は、「山の中腹において火災が発生し、山頂および平尾町集落に向けて延焼拡大している。」との想定で、ドローンによる空撮により延焼範囲を確認した後、溜池を水利とした可搬消防ポンプ主体の長距離中継体形を構築し、消火活動を行いました。

また、付近の運動公園において消防車両から給水を受けた同航空隊ヘリコプターにより、空中消火活動を繰り返し実施しました。

実践的な訓練を通じて、出動体制を確認するとともに、大規模林野火災に対する対応力の向上を図ることができ、同航空隊との連携強化につなげることができました。



【訓練の様子】

◆ 事業所と災害対応合同訓練を実施

大田市消防本部（島根）

大田市消防本部では、令和8年3月11日（水）、当市と「包括連携協定」を締結している株式会社山崎組と災害対応合同訓練を実施しました。

この訓練は、東日本大震災が発生した3月11日に訓練を行うことで、災害から学んだ教訓の風化を防ぐとともに、実災害における連携体制を確認することを目的として実施したものです。

当日は、「大規模地震により建物が倒壊し、瓦礫の下敷きとなった車両内に要救助者が取り残されている。」との想定で、消防隊員と事業所職員が連携し、安全管理を行いながら、重機を活用した瓦礫撤去と救助活動を実施しました。

実践的な訓練を通じて、災害時の協力体制の強化を図ることができ、地域防災力の向上につなげる取り組みとなりました。



【訓練の様子】



【訓練後の記念撮影】

研 修

◆ 「令和7年度火災調査研修」を実施

川口市消防局（埼玉）

川口市消防局では、令和8年2月26日（木）、27日（金）の2日間、「令和7年度火災調査研修」を実施しました。

この研修は、消防司令補以上の職員が、職務遂行に当たり修得しておくべき火災調査の知識を再確認するとともに、消防士長以下の職員が、火災調査業務に興味を持つことを目的として実施したものです。

両日は、各階級合わせて約100人の職員が参加し、消防司令補以上の職員は、火災原因の判定要領、火災損害調査要領、発掘・復元要領など、火災調査全般の内容を学びました。

また、消防士長以下の職員は、火災事例や実験動画などを通じて、火災が発生するメカニズムを学ぶなど、経験の浅い職員の好奇心を刺激する講義内容としました。

研修終了後のアンケートでは、「現場の生の声」を聞くことができ、次の研修開催に向けて課題を抽出することができました。

今後も、組織全体の火災調査力の向上に努めてまいります。



【研修の様子】

◆ 「障がいのある子との関わり方のヒント」についての研修会を開催

相模原市消防局（神奈川）

相模原市消防局では、令和8年3月2日（月）、「障がいのある子との関わり方のヒント」についての研修会を開催しました。

当日は、NPO法人ぴあっと代表理事の五十嵐舞子氏を講師としてお招きし、「障がいのある子との関わり方のヒント」をテーマにご講義いただき、障がいのある子どもの行動や感情表現などについて、理解を深める貴重な機会となりました。

この研修会を通じて、「声掛けはあいまいな表現を使わず、短くシンプルな言葉を使って伝える。」「次の行動を促す場合は、行先や行動を、写真やイラストカードにして見せることで理解しやすくなり、安心できる。」など、具体的なヒントや子どもの心理状態について学ぶことができました。

今後は、本研修会で学んだことを生かし、さまざまな場面で、障がいのある子どもたちに寄り添った対応に努めてまいります。



【研修会の様子】

◆ 「うるま市消防女性活躍推進座談会」を開催

うるま市消防本部（沖縄）

うるま市消防本部では、令和8年3月3日（火）ひな祭りの日、青い海を背景に、「うるま市消防女性活躍推進座談会」を開催しました。

この座談会は、女性職員の活躍推進と良好な職場環境の構築を図るとともに、消防士を目指す女性を増やすことを目的として開催したものです。

参加した職員から、消防職員を目指した動機や、消防の仕事に就いて感じた励み・嬉しかったことのほか、これから消防職員を目指したい女性へのメッセージなどを聞くことができました。

現在、当消防本部の女性職員は全職員136人中3人（2.2%）ですが、目標に掲げる5%を目指し、今後も、引き続き、職員が働きやすい環境づくりと女性消防職員の増員に取り組むとともに、市民に寄り添える消防を目指してまいります。



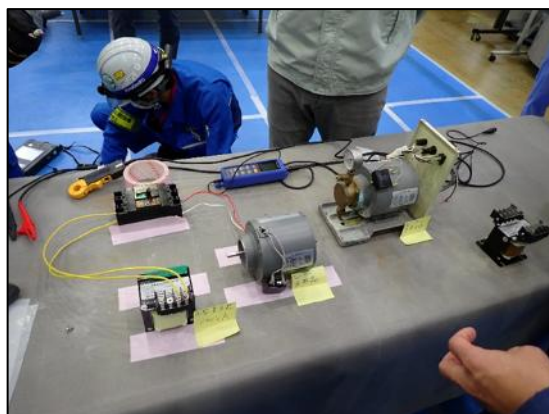
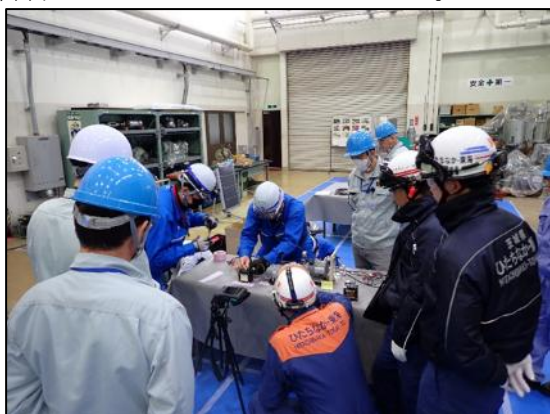
【座談会の様子】

◆ 原子力関連事業所と連携して火災再現実験を実施

ひたちなか・東海広域事務組合消防本部（茨城）

ひたちなか・東海広域事務組合消防本部では、令和8年3月4日（水）、管内にある原子力関連事業所にご協力いただき、電気設備における火災の再現実験を実施しました。

当日は、変圧器やモーターが誘発する火災の過程について、高度な計測器を用いて可視化し、電流や電圧の挙動を確認したほか、火災原因調査に有益な資料をいただき、電気火災に関する知識の習得につなげることができました。



【再現実験の様子】

◆ 「救急活動症例検討会」を開催

根室市消防本部（北海道）

根室市消防本部では、令和8年3月6日（金）、「令和7年度救急活動症例検討会」を開催しました。

この検討会は、救急救命士を含む救急隊員による応急処置などの質の向上を図ることを目的として、毎年開催しているものです。

当日は、職員に加えて、各医療機関の医療スタッフが参加し、市立根室病院副院長の三好氏をアドバイザーとしてお招きして、職員が令和7年の救急統計と救急出動した中からピックアップした特異な症例について発表を行いました。

また、発表を聴講した同医療スタッフから率直な意見や質問をいただき、活発な意見交換を行うことができ、大変有意義な検討会となりました。

今後も、医療機関との連携強化を図るとともに、市民の皆さまにとってより良い救急医療を提供できるよう努めてまいります。



【検討会の様子】

◆ 車両火災用消火ブランケットの性能検証および火災調査研修を実施

筑西広域市町村圏事務組合消防本部（茨城）

筑西広域市町村圏事務組合消防本部では、令和8年3月6日（金）、消防庁消防研究センター、株式会社モリタに技術協力をいただき、車両火災用消火ブランケットの性能検証および火災調査研修を実施しました。

当日は、近隣9消防本部からも多くの職員が参加するとともに、当県内5消防本部の職員計5人が講師となり、午前の部では、現場到着から活動開始までを想定した時間経過に合わせて、実際に燃焼させたガソリン車を同ブランケットで覆い、熱電対による温度計測とガス濃度測定を実施しながら、被覆による窒息効果と輻射熱の遮断性能を検証し、科学的に可視化しました。

午後の部では、同ブランケットが、放水圧による証拠品の飛散を抑制できる利点に着目した火災調査実習を行い、あらかじめ配置した模擬物件が、放水後も保全されている状況を確認し、原因究明への有用性を実証しました。

この取り組みを通じて、外部機関の専門的な知見を得ながら検証および実習を行い、最新資機材を用いた安全かつ高度な部隊運用の指標を確立することができ、貴重な機会となりました。



【性能検証の様子】



【火災調査実習の様子】

◆ 違反処理シミュレーション訓練を実施

大阪南消防局（大阪）

大阪南消防局では、令和8年2月25日（水）、26日（木）、3月10日（火）の3日間、当消防局3つの消防署職員を対象とした、違反処理シミュレーション訓練を実施しました。

この訓練は、職員の予防知識の向上を図るとともに、迅速かつ適切な違反処理能力を強化し、地域住民の安全確保につなげることを目的として実施したものです。

訓練内容は、立入検査の実施から始まり、是正通知書の作成から、関係者への通知書交付、質問調書および録取内容の確認、警告書などの作成に至るまでの一連の流れを、シミュレーション形式で行いました。



【シミュレーション訓練の様子】

◆ 火災調査研修会「府県を越えた火災調査」を開催

川西市消防本部（兵庫）

川西市消防本部では、令和8年3月11日（水）、火災調査研修会「府県を越えた火災調査」を開催しました。

この研修会は、同型式のモバイルバッテリーによる火災が、近隣消防本部においても短期間に連続して発生したことから、類似火災の防止を図ることを目的として開催したものです。

当日は、大阪府の枚方寝屋川消防組合消防本部と交野市消防本部、兵庫県の西宮市消防局、N I T E（製品評価技術基盤機構）、兵庫県警察本部科学捜査研究所と合同調査を実施した火災事例を発表しました。

発表は、出火原因を究明した結果、インターネット通販販売サイトによる同製品の販売停止と火災予防広報につなげることができた「ぼや火災を大切にする」、「り災者に寄り添う」内容で、参加者が熱心に聞き入っていました。



【研修会の様子】

その他

◆ 消防協力者に感謝状を贈呈

置賜広域行政事務組合消防本部（山形）

置賜広域行政事務組合消防本部では、令和8年3月6日（金）、消防協力者の2人に対して、消防長から感謝状を贈呈しました。

本事案は、令和8年2月1日（日）、屋根の雪下ろし作業中に雪とともに転落し、全身が1メートル以上の雪に埋もれた要救助者に対して、近隣で除雪作業を行っていた消防協力者の2人が連携し、雪から掘り起こして救出し、救急隊に引き継いだものです。

消防協力者2人の迅速かつ適切な行動により、尊い人命を救うことにつながりました。



【感謝状贈呈の様子】



【感謝状贈呈後の記念撮影】

◆ 消防功労事業所に感謝状を贈呈

塩釜地区消防事務組合消防本部（宮城）

塩釜地区消防事務組合消防本部では、令和8年3月6日（金）、消防業務の推進のため特に功労があった生命保険会社4事業所（ジブラルタ生命保険株式会社仙台東支社塩釜営業所、ジブラルタ生命保険株式会社仙台東支社仙台第二営業所、住友生命保険相互会社仙台支社仙塩桜花支部、大樹生命保険株式会社仙台支社塩釜営業部）に対して、消防長から感謝状を贈呈しました。

本事案は、コロナ禍明け間もない令和5年度から令和7年度までの3年間、秋季全国火災予防運動の一環として、「高齢者等防火安全対策PR活動」に積極的にご協力いただき、高齢者を中心とする地域住民に対して、火災予防啓発に関するリーフレットを広く配布するなど、管内地域住民の生命、身体、財産の保護に大きく寄与されたものです。

今後も、火災から地域住民を守るため、火災予防の啓発と災害現場活動に努めてまいります。



【感謝状贈呈の様子】



【感謝状贈呈後の記念撮影】

◆ 防火パレード「We Are The Little Fire Crew～ぼくらはちびっこ消防隊～」を実施

松山市消防局（愛媛）

松山市消防局では、令和8年2月27日（金）、春季全国火災予防運動を迎えるに当たり、県内有数の観光スポットである「道後温泉」と活気に溢れる「道後商店街」において、市内の幼稚園にご協力いただき、防火パレード「We Are The Little Fire Crew～ぼくらはちびっこ消防隊～」を実施しました。

当日は、園児たちが元気に行進する中、商店街関係者および利用者へ防火啓発パンフレットを配布し、火災予防の重要性を広く呼びかけ、笑顔あふれるパレードに地域の皆さまから暖かい声援をいただきました。

また、観光で訪れた外国人来訪者に対して、多言語フリップボードを活用し、防火意識の向上を図るとともに、安全確保に関する情報を分かりやすく発信するなど、火災予防への関心を高める機会となりました。



【防火パレードの様子】



【パンフレット配布の様子】

◆ 一日消防署長を委嘱し消防演習を実施

東京消防庁（東京）

東京消防庁小平消防署では、令和8年2月28日（土）、春季全国火災予防運動を迎えるに当たり、小平市内にあるガスミュージアムにおいて、ミラノ・コルティナオリンピック女子アイスホッケー日本代表の山下栞氏に一日消防署長を委嘱し、消防演習を実施しました。

当日は、ガスミュージアム自衛消防隊と消防職団員が参加し、「建物1階から火災が発生した。」との想定で、山下栞一日消防署長の指揮の下、同ミュージアムのガス灯館に向けて一斉放水を行いました。

山下栞一日消防署長は、「この季節は、空気が乾燥し、風も強く、火災が起きやすいので、防災訓練などに参加していただくほか、ご家庭ではマイ消火器を準備して火災が起きないように気を付けてください。」と来場された方々に呼びかけました。



【一日消防署長委嘱後の記念撮影】

◆ 「消防署開放デー」を開催

豊中市消防局（大阪）

豊中市消防局では、令和8年3月1日（日）、春季全国火災予防運動の一環として、新千里消防署において、庁舎の一部を開放する毎年恒例の「消防署開放デー」を開催しました。

当日は、庁舎内の訓練室や仮眠室などの見学を兼ねたスタンプラリーを行ったほか、敷地内において、消防車両や資機材を展示しました。

また、はしご車の展張訓練の展示では、上空のバスケットからの映像をライブカメラを活用して地上モニターに表示するなど、訪れた市民に消防業務への理解を深めていただくとともに、防火防災の普及啓発に努めました。



【イベントの様子】

◆ 山火事予防標識を掲示

みやま市消防本部（福岡）

みやま市消防本部では、令和8年3月1日（日）、春季全国火災予防運動の一環として、みやま市防災協会と協賛で、山火事予防標識を掲示しました。

この標識は、福岡県立山門高等学校美術部員に原画制作のご協力をいただき、原画を基にアクリル素材で製作したものです。

当日は、管轄する清水山や「九州オルレ みやま・清水山コース」（トレッキングコース）に同標識を掲示し、入山者の山火事予防意識の啓発を図ることができ、森林の保全と地域の安全につながることができました。



【原画を制作した美術部員との記念撮影】



【山火事予防標識原画】

◆ 一日消防署長を委嘱し消防訓練を実施

西宮市消防局（兵庫）

西宮市消防局では、令和8年3月4日（水）、春季全国火災予防運動の一環として、市内の中学校において、お笑いコンビ「矢野・兵動」の兵動大樹氏に一日消防署長を委嘱し、消防訓練を実施しました。

当日は、中学校の生徒・教職員など約700人が参加し、「校舎から出火した。」との想定で、避難訓練や放水訓練を行ったほか、はしご車による救出訓練で、要救助者役の兵動一日消防署長が屋上から地上に救出されると、拍手と歓声に包まれました。

また、兵動一日消防署長による防火・防災講話を行い、火災や地震の危険性について、自身の体験談を交えながら、「心配性なので、火の取り扱いには気を付けています。特に、コンセントの取り扱いについては、家族にも注意を呼びかけています。」と話され、防火・防災意識の向上や火災予防を呼びかけました。



【一日消防署長委嘱後の記念撮影】



【訓練の様子】

◆ 園児による防火演奏を実施

田川地区消防本部（福岡）

田川地区消防本部では、令和8年3月5日（木）、春季全国火災予防運動の一環として、田川郡糸田町の「道の駅いとだ おじゅごん市場からすお」において、園児による防火演奏を実施しました。

当日は、田川市の西保育所と糸田町の東保育所の園児による防火演奏を実施した後、防火の誓いを行いました。

また、演奏前には、田川地区防災協会役員および添田町婦人防火委員会役員と合同で、防火チラシを配布して火災予防を呼びかけるなど、地域住民に対する火災予防啓発を行いました。



【防火チラシ配布の様子】



【防火演奏後の記念撮影】

◆ 一般企業と連携し火災予防啓発を実施

堺市消防局（大阪）

堺市消防局では、令和8年3月1日（日）から7日（土）までの7日間、春季全国火災予防運動の一環として、協定を締結している「株式会社ほっかほっか亭総本部」と連携し、火災予防啓発を実施しました。

期間中は、管内20店舗でお弁当などを購入された来店客に対して、計6,000枚の啓発チラシを配布し、住宅用火災警報器の設置や維持管理について呼びかけていただきました。

今後も、さまざまな広報手段を活用し、住民の皆さまに火災予防の大切さを伝えてまいります。



【チラシ配布の様子】



【火災予防の啓発チラシ】

国等の動き

消防庁通知等

◆ 消防用設備等の技術基準や危険物施設の技術基準に関する行政指導指針の策定及び公表の状況等に関する調査（第4回）の結果について（通知）

（消防予第93号、消防危53号、令和8年3月12日）

消防庁予防課長、消防庁危険物保安室長から各都道府県消防防災主管部長、東京消防庁・各指定都市消防長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

「消防用設備等の技術基準や危険物施設の技術基準に関する行政指導指針の策定及び公表の状況等に関する調査（第4回）について」（令和8年1月26日付け消防予第29号・消防危第14号）により実施した調査の結果について、別紙1のとおり取りまとめましたので、お知らせします。

行政指導指針を策定し、当該指針を公表していない消防本部につきましては、別紙2、3を参考の上、早急にインターネット上で公表していただきますようお願いいたします。（別紙省略）

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/260312_yobo_1.pdf) に掲載されています。

（問合せ先）

予防課

担当：服部、明田、関、城取

TEL：03-5253-7523

MAIL：yobo@soumu.go.jp

危険物保安室

担当：羽田野、三宅、中山

TEL：03-5253-7524

MAIL：fdma.hoanshitsu@soumu.go.jp

◆ 「消防活動のため使用する車両の高速道路の利用に関する協定」の一部を変更する協定（第1回変更）等について

（消防救第44号、令和8年3月16日）

消防庁救急企画室長から各都道府県消防防災主管部（局）長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

平素より、救急行政の推進について御尽力いただき御礼申し上げます。

救急出動先からの帰署時の高速自動車国道及び自動車専用道路（以下「高速道路」という。）通行料金の取扱いについては、消防庁と東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社及び西日本高速道路株式会社（以下「3高速道路会社」という。）の間で、「消防活動のため使用する車両の高速道路の利用に関する協定」を締結し、「料金を徴収しない車両を定める告示」（平成17年国土交通省告示第1065号。以下「告示」という。）第3号に該当する消防活動のため使用する車両の高速道路の通行料金の取扱い等について定め、「消防活動のため使用する車両の高速道路通行料金の取扱いに係る協定等について」（令和3年1月15日付け消防救第8号）によって周知したところです。

今般、国土交通省から運用改善に向けた方向性が示されたことを踏まえ、消防庁と3高速道路会社の間で、別添のとおり「消防活動のため使用する車両の高速道路の利用に関する協定」の一部を変更する協定（第1回変更）（以下「変更協定」という。）を締結しました。（別添省略）

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

（<https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/f59267e072a53f7a6d6cf94126999e3abcfb8d30.pdf>）に掲載されています。

【問合せ先】 消防庁救急企画室
竹田補佐、松田係長、三宅事務官
電話：03-5253-7529
Email: kyukyukikaku-kyukyurenkei@soumu.go.jp

報道発表

◆ 令和7年度優良少年消防クラブ・指導者表彰（フレンドシップ）

（令和8年3月17日、消防庁）

令和7年度優良少年消防クラブ・指導者表彰（フレンドシップ）の受賞クラブ及び指導者を次のとおりとしましたので、お知らせします。

表彰式は令和8年3月25日（水）に開催します

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

（<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/r7furenndpshippu.pdf>）に掲載されています。

<問合せ先>
消防庁国民保護・防災部地域防災室
土田課長補佐、林事務官、松澤事務官
TEL：03-5253-7561
E-mail：chiikibousai/atmark/ml.soumu.go.jp
※迷惑メール防止のため、「@」を「/atmark/」と表示しておりますので、送信の際は、「@」に置き換えてください。

※ お知らせ

消防本部所在地に変更がありましたので、ご連絡いたします。

【消防本部コード 53015】 相楽中部消防組合消防本部

1 所在地

〒619-0218

京都府木津川市城山台九丁目1番地2

2 移転日

令和8年3月23日（月）（仮運用開始日）

※ 本格運用は、令和8年4月1日からとなります。

3 電話番号

消防本部（代表） 0774-72-0119

総務課 0774-75-1380

予防課 0774-75-1381

救急指令課 0774-75-1382

警防救助課 0774-75-1384

消防本部の“今”を「週間情報」へ

～身近な出来事、旬な情報を週間情報で発信しませんか？～

週間情報では、各消防本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せください。

【特徴】

・原則毎週刊行しており、速報性のある広報となっています。

【留意事項】

・配信日（原則火曜日）から前2週間以内のイベント、訓練等を中心に掲載しています。

・文章は、Word で200～400文字程度、写真は、1～2枚を Word に貼り付けて送付してください。（貼り付けできない場合は、JPEG 画像データを送付してください。）

・週間情報、消防ワイドの両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。

【問合せ】：「週間情報」担当・企画課 吉田 TEL:03-4500-6622

原稿データは、weekly@fcj.gr.jp に送信願います。



機関誌「ほのお」掲載記事募集中

全国の仲間に共有したい取り組みとその情熱を「ほのお」へお寄せください

全国消防協会では、機関誌「ほのお」への掲載記事を募集しています。

・トップ・セカンド記事 完成原稿は不要 掲載希望内容の概要（企画案）を提出

・消防ワイド 写真中心の自由投稿 文章:Word100字程度/写真:JPEG1枚

【問合せ】:企画課・中西 TEL 03-4500-6622

トップ・セカンド記事:kikakoho@fcj.gr.jp 消防ワイド:honoo@ffaj-shobo.or.jp

※添付 5MB 超は分割送信



消防デジタルイラスト募集中!!!

～あなたのイラストが全国の消防業務を支える力となります～

- あなたのイラストが、全国の消防本部で、広報・啓発・訓練・教材作成など、消防業務の様々な場面で活用されます。
- 全国消防長会ホームページの「令和版 消防デジタルイラスト集」に掲載されます。
- ホームページ掲載時には、「〇〇消防本部〇〇作」と作者名を明記し、あなたの名前と作品が、全国に紹介されます。

詳細は、[全国消防長会ホームページ](#)を検索!!!



「消防行政相談事例集」はじめました。

- これまでに蓄積された相談事案と顧問弁護士の知見を「消防行政相談事例集」として取りまとめ、全国消防長会の情報管理システムへの掲載を開始しました。
- 行政相談でこれまでに対応した事例の中から、参考になるものを紹介しています。
- 掲載している相談は、内容を整理・一般化した概要と、それに対する顧問弁護士の回答です。
- 掲載する事例は、今後、随時追加していきます。

